

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人美野里会	特別養護老人ホーム輝陽園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 見守り	① コールマット・コードレス HC-R ② ベットコール・コードレス BC-RN	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月 20日	① 2台 ② 1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>左大腿骨骨折の既往があり、医師から立位を禁止されている利用者に使用している。転倒防止のため現在和布団を使用しており、その横にマットを設置。夜間6回程度トイレに行こうとお尻をすりながら移動されるため、見守りとして役立っている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>センサーが反応しコールが鳴ることで、ご本人が立ち上がろうとする前に職員が対応できるため転倒予防ができています。以前はコードが付いたセンサーマットを使用していたが、コードを引っ張ってしまったり切れてしまったり、コードに絡まってしまいより転倒のリスクが高くなってしまいう危険があったが、ワイヤレスのセンサーになったことで問題が解決した。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>今回導入した物品に関して、今のところ不都合な事はありません。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月 5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 秀心会	特別養護老人ホームつばい愛の郷	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	① コールマット・コードレス HC-R 3台 ② ベッドコール・コードレス BC-RN 2台	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和元年12月27日	計5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 コールマットは、車椅子の自操が可能で自身で移乗動作を行うことは、転倒のリスクが高く軽介助や見守り、所在確認が必要な入所者3名を対象に使用している。 ベッドコールは、歩行や移乗が可能で寝返り程度でのセンサー反応は不要であるが、起き上がった時（背中荷重が外れたとき）にキャッチし独歩や移乗による転倒リスクが高い入所者2名を対象に使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① コールマットを使用する事で端坐位や、車椅子による加重を確実にキャッチできている。寝返り等ではない事が明確な為訪室の優先順位も上がりベッド⇄車いす⇄ポータブルトイレ移乗等コードレスなのでハイリスク場所に設置ができており職員の負担軽減ができています。導入後当該利用者の転倒・転落事故は起きていない。 ② ベッドコールについては、「起き上がった」ということが明確にわかる為コールマット同様訪室の優先順位が上がり転倒事故の予防・適切な介助ができています。寝返り等では反応しない為訪室の回数が減ったことも職員負担の軽減につながっている。①同様転倒事故は起きていない。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 コールマットはコードレスタイプなのでコードに引っかかることが無く設置場所も選べるため良いのですが、形が長方形に限定されている。自操で居室に戻り車椅子⇄ベッドのセンサーキャッチをする場合マットの幅が狭く拾いきれないことが在る。マットを分離・連結することで形を変えることができたならもっと、広い範囲でセンサーの反応をキャッチできると思う。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 4月 6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 三愛	特別養護老人ホーム 市川三愛	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	① HC-R コールマットコードレス MSN1200R ② BC-RN ベッドコールコードレス	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月28日	① 4台 ② 4台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>・新規入居者の行動把握や身体機能の状況に応じて使用している。使用中は必ず、定期的な評価を行い事故の予防や入居者の行動パターンの把握に役立てられている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>・訪室回数軽減により、介護職員の精神面の緩和に繋がっている。また行動パターンの把握も出来る為、より良いケアの提供が可能となってきた。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>特になし</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人外房	特別養護老人ホーム外房	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	①フランスベッド 見守りケアシステム FB-033・L-6・B30V M2(DM) ②テクノスジャパン サイドコール・コードレス (SC-R)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月 29日	① 2台 ② 3台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
①ベッドからの転落・転倒のリスクが高い入所者の方の見守り、転落予防の目的で毎日使用している。		
②転倒リスクのある入所者・ベッドの使用に慣れていない方、転倒予防・見守りの目的で毎日使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
①5種類のモード・感度など入所者の方に合わせた設定ができる為入所者の方の行動を制限することなく夜間の動きを早めに知ることができ、職員配置が少なくなる夜勤者の精神的不安の軽減につながり、日中でもナースコールで知らせてくれるので助かっている。		
②マットレスに挟み込んで使用し、コードレスの為安全に使用できる。端座位になる前にセンサーが反応し入所者の方の動きを早めに知ることができ見守りに対する精神的負担の軽減につながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】		
①現在端座位モードで使用している。就寝時臥床した後に正しくセンサーが反応するか音で確認しづらい為、慣れるまで多少不安がある。		
②マットの大きさが小さめでシーツの下に設置している為ズレているのを確認しづらい様に感じます。又、オン・オフがもう少し大きいと助かります。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 法師会	特別養護老人ホーム椿寿の里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	ベッドコール・コードレス BC-RN	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月 23日	7台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
◆使用する業務について *ナースコールを押す行為が認識出来ない、歩行時の転倒リスクが高い認知症の入居者へ、ベッドから起き上がるタイミングを職員へ知らせ転倒リスクを減らす為に使用する		
◆使用頻度 *ベッドへ入居者がいる時は常に使用する		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 以前はベッド下へベッドから床に降りた事を知らせるセンサーマットで対応していたが、そこから職員が駆けつけても間に合わない事が多く転倒する前に防げる事が少なかった。今回の商品は背中を上げた瞬間でコールにより職員のもつ PHS へ知らせてもらえるので、以前より転倒リスクを減らした対応につながった		
【介護ロボットの不都合な点】 今回の商品は設置をする場所ごとに設定をしないと PHS へナースコールが送信されないため、他の部屋で急遽必要になった場合、移動をさせて使用する際は、設定変更をしなければならない手間がかかる。できればどの部屋に使用しても設定変更をする手間を無くしナースコールへ連動できると更に良い。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 22日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人同仁会	特別養護老人ホームしおかぜ	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	①見守り介護ロボット アアムス ②コールマット・コードレス	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 3月 1日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>アアムスは、現在看取りの利用者様がいないため、体調の優れない方に使用している。看取りにはなっていないものの、パソコンで心拍や呼吸数の確認ができています。何か異常があれば、アラート音が鳴るため、都度確認しなくとも対応ができています。コールマット・コードレスは、転倒リスクのある利用者様2名に使用している。夜間、離床機会が多い利用者様に対しても、都度対応することができており、転倒事故を未然に防ぐことができています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>アアムスは、心拍や呼吸に関しても、フロアで確認できるため、介護職員の負担軽減に繋がっている。コールマット・コードレスは、マットを踏んだ瞬間に反応するため、転倒リスクのある利用者様に対し、迅速な対応を行うことができています。転倒の報告も無くなって来ている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>アアムスは、今のところ特に不都合な点は見受けられない。コールマット・コードレスは、横に長い作りのため、マットを踏まずに跨いでしまい、反応しないことが一度あった。以前使っていたセンサーと併用して使用している。</p>		

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 2月 17日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 茶ノ木台くらぶ	地域密着型特別養護老人ホーム 茶ノ木台くらぶ	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	株式会社 テクノスジャパン コールマットコードレス HC-R MS1200RF	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年 2月15日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>立ち上がりが多く、ナースコールを押さずに移動してしまうご利用者様に使用しています。 窓・玄関等開いている出入り口より外へ出て行ってしまう、徘徊される方を選定しています。</p> <p>A 様 / 日中1回～2回 夜間1～2回</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>徘徊による行方不明という重大な事故を起こさないため、利用者の動きに応じて検知しナースコールが鳴るため効果的・効率的に見守りが行えています。</p> <p>ナースコール連動なので手持ちの PHS で感知でき、介護職員のスピーディな対応と精神的不安の軽減になっています。コードレスタイプなので、誤って足を引っ掛けて転倒する不安もなく安心して使用できています。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>現在までのところ、不都合な点はないです。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年4月9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 誠友会	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園ユニット型	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	テクノスジャパン HC-R コールマットコードレス MSN1200R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年1月23日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドからの転落・転倒の可能性が高い入居者に対して設置。毎日稼働しており、臥床時（主に夜間帯）に使用している。 		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置することより事故防止となっている。また、介護職員の巡回の回数が減り、その他の業務等の対応が可能となって、介護時間や業務の軽減につながっている。さらに介護職員の安心感、精神的な不安が大幅に軽減している。 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサーには一時停止ボタンがあるが、ボタンを押すと一定時間センサーが鳴らない為、その時間はセンサーを使用することができなくなる。一時停止ボタンの「解除ボタン」があると便利。 		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月13日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 煌徳会	特別養護老人ホーム 一倫荘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマット・コードレス HC-R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年3月9日	5	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>動きのある利用者に対して使用し、日中及び夜間において利用者がベットを離れる際にナースコールと連動して検知している。毎日使用しており、使用者及び状態によって頻度は変わるが、概ね日に2～3回以上検知し、事故防止につなげている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>端座位や離床など利用者の状況に応じて検知し、ナースコールと連動することで、効果的かつ効率的な見守りに繋がっている。それにより転倒や転落等の重大な事故を未然に抑止することができているとともに、介護職員の精神的負担の軽減につながっている。またコードレスタイプのため、足をひっかける事故の不安はない。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月13日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 煌徳会	特別養護老人ホーム 新千葉一倫荘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマット・コードレス HC-R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年3月9日	5	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>動きのある利用者に対して使用し、日中及び夜間において利用者がベットを離れる際にナースコールと連動して検知している。毎日使用しており、使用者及び状態によって頻度は変わるが、概ね日に2～3回以上検知し、事故防止につなげている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>端座位や離床など利用者の状況に応じて検知し、ナースコールと連動することで、効果的かつ効率的な見守りに繋がっている。それにより転倒や転落等の重大な事故を未然に抑止することができているとともに、介護職員の精神的負担の軽減につながっている。またコードレスタイプのため、足をひっかける事故の不安はない。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月13日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 煌徳会	特別養護老人ホーム いなげ一倫荘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマット・コードレス HC-R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年3月9日	5	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>動きのある利用者に対して使用し、日中及び夜間において利用者がベットを離れる際にナースコールと連動して検知している。毎日使用しており、使用者及び状態によって頻度は変わるが、概ね日に2～3回以上検知し、事故防止につなげている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>端座位や離床など利用者の状況に応じて検知し、ナースコールと連動することで、効果的かつ効率的な見守りに繋がっている。それにより転倒や転落等の重大な事故を未然に抑止することができているとともに、介護職員の精神的負担の軽減につながっている。またコードレスタイプのため、足をひっかける事故の不安はない。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月13日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 煌徳会	特別養護老人ホーム とどろき一倫荘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマット・コードレス HC-R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年3月9日	5	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>※本機を使用するために必要な付属品について、中国からの納品が遅れており納品され次第使用する。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年4月3日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人一静会	特別養護老人ホームしずか荘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りセンサー	コールマットコードレス HC-R MSN1200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月28日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ベッドからの立ち上がり時に転倒・転落のリスクのある認知症のご利用者のベッド足元の床へ臥床の際に設置している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>ベッドの高さを利用者に合わせて低床状態で使用することで、ベッドから足を下す際にセンサーが感知できるため、不安定な姿勢になる以前に介護職員が駆け付けられる。また、自ら車いすからベッドに移乗を試みる方へも同様に早期感知できるため、転倒・転落事故を未然に防ぐことができている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>使用者の心身状況に合わせて使用が適切かどうかアセスメントしており、大きな支障はないが、動作、行動が早い方に対しては、反応後に職員が駆け付ける場合間に合わないこともあるため、体動が激しい方など特徴に応じてサイドコールコードレスなどと機種を選定が必要であると考えている。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 1月10日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 笑顔	特別養護老人ホームからたち	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマットコードレス HC-R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年1月8及び9日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
別添報告書（理学療法士作成）の通り		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
別添報告書（理学療法士作成）の通り		
【介護ロボットの不都合な点】		
現在の所特段なし		

(別紙2)

②実績報告時に提出

コールマット・コードレス設置状況報告書

R2年1月10日

当施設におけるコールマット・コードレスの使用状況を以下に報告させていただきます。

センサー①

<対象者>

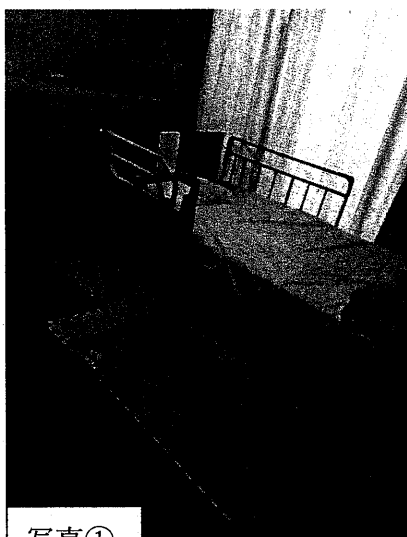
■■■■様

認知症、高血圧症、皮膚そう痒症の既往がある80歳代、男性。

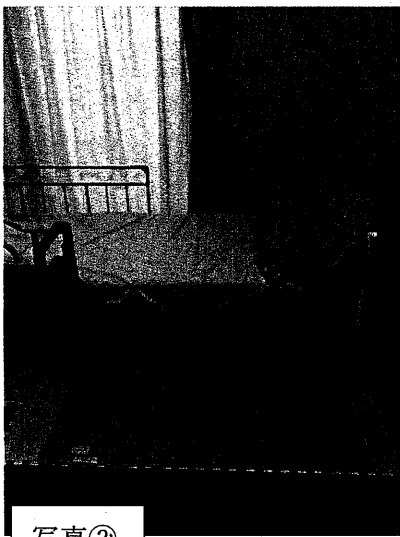
<使用開始日>

R2年1月8日

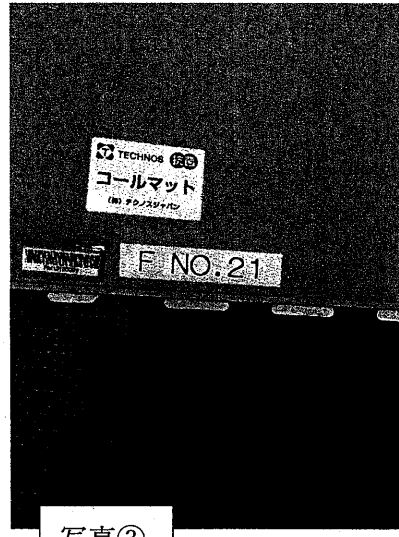
<使用状況>



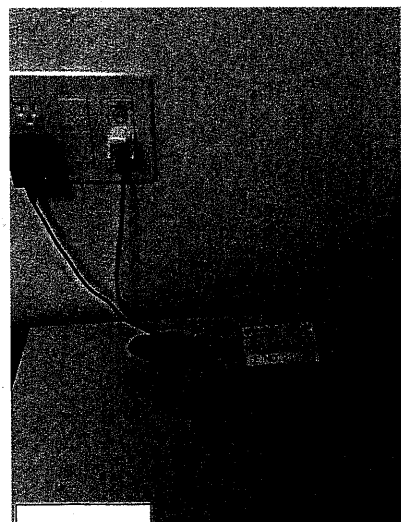
写真①



写真②



写真③



写真④

認知症の症状より理解力の低下みられ、必要時にナースコールを使用することが困難。

日中は離床されていることが多いため、夜間帯での使用が主となっている。不眠にてベッド上で多動、動かれる範囲も大きいため、転落予防のため下肢がベッド下へ降りた際にセンサー発砲、対応できるように使用している。低床ベッドを使用し、就寝時は最低床にしているため、そのままベッド脇へ降りられることもある。その際には、センサーのコードを引き抜く行為もみられていたため、コードレスを使用することで破損の危険性を回避できる。

センサー②

<対象者>

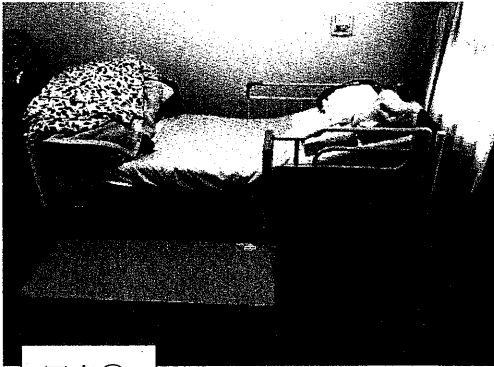
様

慢性心不全、便秘症、右大腿骨頸部骨折、認知症の既往がある 90 歳代男性。

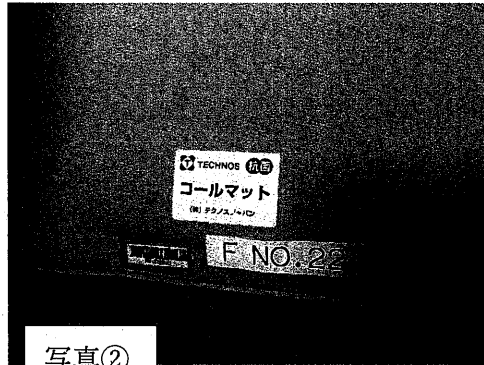
<使用開始日>

R2 年 1 月 9 日

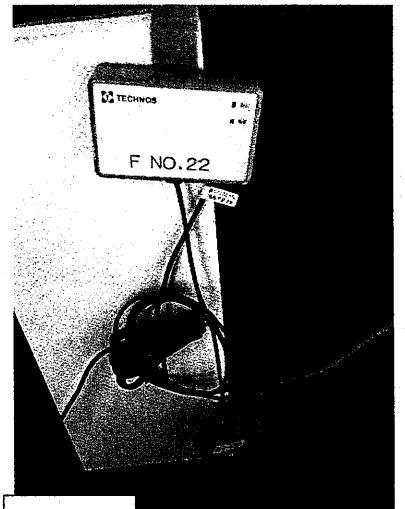
<使用状況>



写真①



写真②



写真③



写真④

認知症の症状により短期記憶、理解力の低下みられるため、必要時にナースコールを使用することが困難。

車椅子移乗には介助を要し、起床時や日中に居室で休まれた後、適切なタイミングで介助に入ることができるよう使用している。

また、洗面は自立されているため、洗面後の動作が察知できるよう車いすの後方へ設置して使用している。(写真④)

コードレスを使用することで居室内での使用可能範囲も広がり、また、移動の際のコードによる転倒や破損を防ぐことができる。

以上、報告です。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホー	特別養護老人ホーム 第二松丘園	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	HC-Rコールマット・コードレス MSN1200R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 2月 1日	9 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 入所・ショートステイの方々を対象に終日敷いて使用しています。利用者がマットを踏んだり、上体を起こすことによりナースコールに音で知らせてくれる為機敏に対応することが出来る。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 入所者の方々の初動動作をいち早く感知しコールにより知ることが出来る為、効果的効率的な業務を進めることができる。職員の肉体的・精神的負担の軽減にもつながる。ショートステイサービス利用者は行動が理解できないことも多く特に夜間は日中以上に少人数での業務であるため導入による成果は大きい。		
【介護ロボットの不都合な点】 特になし		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年4月10日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 たむかい	特別養護老人ホームあんしん	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	センサーマット コールマットコードレス HC-RM SN1200R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年 1月 23日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ナースコールを押さずにベッドから降り廊下まで這って出てくる利用者が1名。 足が弱くなり手引きが必要な利用者がトイレに行こうとする。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ベッドで座位になったときにコールがなり転倒防止、徘徊防止になった 特に夜間は助かっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 マットがあると気になる利用者がいて、動かしてしまうこともある。		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 3 月 12 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
公益財団法人日産厚生会	佐倉ホワイエ	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	(株) テクノスジャパン ①超音波・赤外線コール HUI-R ②コールマット・コードレス HCR	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 2 月 20 日	① 1 台 ② 2 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>①自力歩行ができる方を対象として使用し、居室の入口に設置し転倒等の危険防止に使用する。</p> <p>②歩行が不安定で、認知機能が低い方の転倒、転落予防に使用する。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>超音波・赤外線コール、コールマット・コードレス共に、ケーブル類が少なくベッドの足元回り以外の設置が可能となり居室内を自由に動け、一人で居室から出てきてしまう方の転倒・転落予防に使用可能である。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>無線の為、断線、力任せに引っばっての破損の心配が少ない。</p> <p>赤外線センサーに限り、センサー部分に電源が必要な為、コンセントを使用している。</p> <p>電池での駆動も可能であるが、いつ起きるか分からない電池切れの対応に不安がある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月23日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団琢心会	介護老人保健施設 辰巳ナーシング・ヴィラ	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	超音波・赤外線コールポケット UPI-10	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月29日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>夜間、ポータブルトイレを使用する入所者のベッド下に設置し、ベッドから起き上がり、端座位、離床などの行動を把握。効率的な見守りにより、転倒・転落等の不安無く、安全にポータブルトイレを使用できている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>・夜間、ポータブルトイレを利用する際、転倒やふらつき等みられていた入所者に対し、見守りロボットを設置することで効率的な見守りが可能となり、転倒・転落等の重大な事故を抑止することや、介護職員の精神的負担の軽減につながっている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>・現在のところ、特になし。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 3 月 4 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 穩寿会	特別養護老人ホーム 勝浦裕和園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り ②見守り	①HC-R、コールマット・コードレス MSN1200R ②BC-RN、ベッドコール・コードレス	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 2 月 1 日	① 2 台 ② 2 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>コールマット、ベッドコールどちらも主に夜間帯で認知症のある歩行不安定の入居者に使用している。ナースコールの鳴動により起き出しに速やかに気付くことができ、転倒・転落等の重大な事故を抑止することができている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>夜間帯 1 時間毎の巡回を行っているが、端座位や離床などで認知症のある歩行不安定な入居者の起き出しに効率的に見守りができ、介護職員の精神的負担軽減につながっている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>不都合に感じることはない。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 親愛会	特別養護老人ホーム 親愛の丘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	HUI-R 超音波赤外線コール STD	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 2月 27日	10台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>夜間に自力で離床しトイレに行かれる方を対象に、転倒リスクが高い方の見守りで夜間帯に使用している。居室扉枠の上部に磁石で設置し、対象利用者様が扉の前に立って居室を出入りされる様子を設置済みのナースコールと連動させて見守っている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>以前はご自身でトイレに行かれる方に関しては定時の巡視で見守りを行っていたが、今回超音波赤外線センサーを導入したことによりリアルタイムで利用者様の状況を把握できるようになった。夜勤者からの聞き取りによると、反対のユニットに居ても「今トイレに行っている。」「部屋に戻られた。」ということが把握でき、すぐに転倒されていないか確認に行けることで夜勤時の精神的不安が軽減されているとのこと。また、サンプルが少なくまだ確実に実証できてはいないが、全5ユニットを通じて夜間の転倒事故が減少傾向にある。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>現在は赤外線と超音波が拾える範囲の把握が出来ておらず、ベッド脇に設置して離床を見守る意図での使用時に誤作動が多いとの報告がある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 4月 3日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 豊寿会	介護老人保健施設 なつみの郷	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	株式会社テクノスジャパン コールマット・コードレス (HC-R)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 3月 12日	5台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動きのある利用者を対象として、ベッド上またはベッドサイドに設置し、利用者の日中及び夜間の行動を確実に把握することで、行動が予測可能となり、転倒及び転落等の重大な事故を抑止することができている。 		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 端座位や離床など利用者の状態に応じて検知して、ナースコールが鳴動することにより、効果的・効率的な見守りを行うことが実現し、利用者の行動を事前に確認することで、転倒及び転落等の重大な事故を未然に防止している。また、コードレスタイプなので、利用者が誤って足を引っかけて転倒する不安もなく安心して使用できる。また、日中及び職員が手薄になる夜間においても、介護職員の精神的負担の軽減につながっている。 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入して間もないため、現在のところ特にありません。 		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 3 月 11 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人 白百合会	介護老人保健施設 しらゆり	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	① 超音波・赤外線コール・ポケット UIP-10 ② BC-RN ベッドコール コードレス ③ HC-R コールマットコードレス MSN1200R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 1 月 24 日	8 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ショートステイや新規入所者を中心に活用している。ナースコールと連動する事で素早く反応でき、フロアのどこに居てもスムーズに現場に行け、転倒やベッドからの転落にそなえる事が出来ている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 認知症状や精神症状等により、自身の危機管理の出来ない方などの危険防止に効果がある。身体拘束を行わない観点から必要不可欠な機材として使用している。車椅子自走し居室出入口に設置することで早めの気づきに役立っている。		
【介護ロボットの不都合な点】 フットセンサー・離床センサーにおいては両方の特殊性を生かした活用方法を行っており、事故防止に大変役立っております。 今後、赤外線センサーをどの場面で活用する事ができるか試行錯誤ではありますが考えながら行っています。 フットセンサー使用対象者の中には繰り返しの中で学習し、センサーをさけて降りようとするので転倒に気を付けなければならない。		